



大阪支部だより



2023年度広島女学院関西ブロック同窓会

京都



若葉を渡る風に夏の気配を感じる昨年5月31日、ホテルグランヴィア京都にて、57名の同窓生が集まり、コロナ禍による延期を経て4年ぶりとなる関西ブロック同窓会が開催されました。まず初めに中山厚子京都支部長より、3度の開催延期のお詫びと大勢の方がご出席下さったことへの感謝のご挨拶がありました。そして広島女学院らしく、礼拝にて懐かしい讃美歌をともに歌いともに祈りました。

その後、山口裕子関西ブロック長の「ことばっておもしろい その1」と題された「人称表現にうかがえる文化」についての講演があり、山口

さんのあたたかいお声で聞くウイットに富んだお話に、会場からは笑い声があふれておりました。大陸から伝わってきた文化により人称表現が変化し現在の言語として使われているということが、大変印象に残っております。

講演の後は、竹内路子同窓会会長より、同窓生がこの4年間でくじけずにできることをコツコツと続け、熱意と母校への愛情でこれまで繋げてきたことへの感謝のお言葉がありました。



山口関西ブロック長

そしてお待ちかねの、京都ならではの美しいお料理をいただく時間です。あっという間に心は女学生へと戻り、学年を超えて歓談しながら、おいしくいただきました。最後に、母校を懐かしみながら校歌を歌い、和やかで家庭的な雰囲気のもと、あっという間に3時間が過ぎ、次年度のブロック同窓会での再会をお約束して閉会となりました。

同窓生のみなさまの笑顔に包まれた楽しく幸せな空間でした。

文：大阪支部長・南方香織(高40 文英20/木原)

● ● 参加者のこえ ● ● ● ● ● ● ● ●

大学から家を離れ、結婚してから転勤族だったこともあり、今まで同窓会に参加するタイミングを見失っていました。しかし、コロナ禍を経て人と会うことの大切さを痛感したので、この度初めて参加することにしました。高校卒業以来会っていない友人達が私を覚えてくれているかな、話が弾むかな、とドキドキしながら会場に向かいましたが、そんな心配は無用でした。あの頃の面影を宿しながらそれぞれの年を重ねた友人達と思い出話から近況報告まで話し足りないくらいあっという間に時が過ぎました。先輩の方々も優しい雰囲気、久しぶりの校歌も不思議なくらいに歌えて、あたたかい「ホーム」のような居心地のよい会でした。準備して下さった方々に感謝いたします。



竹内同窓会会長



次は大阪でお会いしましょう!

2024年度広島女学院関西ブロック同窓会

2024年5月22日(水)11:30~14:00 大阪迎賓館にて ※詳細は別紙、またはこちらから⇒



23.8.6 平和記念礼拝に参加して 大塚善子（高12/平野）

大阪支部の同窓生である大塚善子さんが、昨年夏に、広島女学院中学・高等学校の平和記念礼拝にて、講演をされ、若い生徒たちに、戦争の記憶を直接お話されました。その時のようすをお伝えします。

8月6日、15年ぶりくらいでしたでしょうか。女学院ゲーンズホールを訪れました。

門を入ると「こんにちは」と声がかかります。「こんにちは。私は1960年の卒業生です。」という「私は今年の中学1年生です。」というかわいい返事。出だし上々です。

私は、1960年から京都と大阪に住んでいます。原爆についての関心は、関西と広島ではちがいます。京都は広島と同じで空襲をほとんど経験していません。それは京都が米軍の原爆投下の候補地で、原爆の威力を見るために町が保存されていたからです。一方大阪は大規模な空襲を何度もうけました。軍事施設にも市民にも容赦はありませんでした。私の同僚には、中学1年生で機関銃を撃つ米軍機から逃げて、倒れるまで追い回されたという人がいました。彼はその時、右腕を失っていました。



地方によって原爆のとらえ方に差があるのは分かります。ですが広島を知るものとして、原爆の被害、放射能の恐ろしさ、核兵器廃絶の大切さを伝えたいと思いました。原爆投下時、私は3才で世羅郡に疎開していました。それでも8月6日の夕方の黒と朱色の混じりあった夕焼けの怖さが忘れられません。父もふくめて17人の親戚が被爆しました。その人たち、みんなまじめに生きていた普通の人たちの、中には遺体も見つからなかった6人もおりますが、その後を伝えて私の証言にしようと思いました。

そして、友人やそこにつながる集まり、CS（教会学校）などで話してきました。

広島女学院の若い姉妹には、学童疎開で家を離れていて両親と妹を亡くした親戚の兄弟と、23才で夫を亡くした従姉のことを話しました。

兄弟は5年生と3年生でした。都市から離れて安全な地方で共同生活をする学童疎開に行かされ、両親と妹は広島で亡くなり、お骨もみつかりませんでした。2人は施設で大人になり、お兄ちゃんは弟を高校に行かせるため、中卒で就職しました。お父さんは中学の先生でした。生きておられたら、兄弟はきっと大学までいったことでしょう。

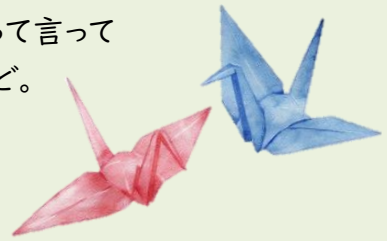
従姉は新婚の夫をなくしました。夫は死にたくないと言いながら、従姉の名を呼び続けて1週間で亡くなったといいます。従姉も左目失明、目から顎までざっくりと切り傷、傷はケロイドとなって何度手術しても治りませんでした。従姉は、猛勉強して医者になろうとしましたが、片目失明で受験させてもらえず薬剤師になりました。60歳で退職、楽しい老後をとみんなが思っていたのに、すぐ認知症がはじまり、趣味も旅行もかなわぬ夢となりました。それでも、私たちにはお姉さんらしい優しい人でした。亡くなった時、ケロイドの色が消えた小さなかわいい顔で、私は、ああやっとお兄さんのところに行けたね、と思いました。



若い姉妹に話をするとき、いろいろ説明することがありました。たとえば小学校を卒業すると、2年制の高等小学校と5年制の中学校・女学校にわかれ、高小からの進学はできないこと、小学校を出た人たちは1945年当時、勉強よりも戦争のために働かされていたことなどです。私の説明で、どこまでわかってもらえたでしょうか。

また大阪支部のことも少し話してきましたよ。大阪支部が始まったのは、戦後、同窓生の安否を尋ねあったのがきっかけだったこと、同窓生が応援して高槻市議になられた卒業生の松田伊勢子さんが戦争で夫を亡くした方たちの生活のために活動されたこと、戦後50年余、先輩方から続いて支部会報に原爆や戦争体験の記事をのせてきたことなどです。

話したいことはいっぱいあったのです。将来どうぞ自分で考え判断して生きてくださいね。神様よろしくではなくて、神様これでいいでしょうか？って言ってくださいね。まだ、女性差別はあります。がんばってくださいね等など。言いたいことがありすぎたのかもしれませんが。うまく伝わったでしょうか？



歴史散歩

2023年10月11日

「山科の古刹 隋心院・勧修寺・醍醐寺を訪ねる」



同窓会有志にて、山口関西ブロック長の解説で、京都市郊外の山科地区の隋心院、勧修寺、醍醐寺を巡ってきました。

観光客が増えすぎるオーバーツーリズムが問題になっている昨今ですが、ここ山科は、京都中心部の喧騒が嘘のような静寂に包まれ、趣のあるお寺を歩くだけで心が洗われるようでした。

山口さんの解説は、多方面に及び、またそれぞれが深いのです。いったい頭の中にいくつ引き出しがあるのか、と不思議になるくらい！かつ、「ここからは山口説ですが」と独自の考察も加わり、歴史に明るくない私にとっても興味深いものでした。

幅広い年代の参加で、初対面の方とも、年代による制服の違いの話、修学旅行の話などの雑談にも花を咲かせました。

秋空の下の大人の遠足。スニーカーにリュックで気軽に集まる機会もまた良いものだと思います。

文：宮崎能子（高33/幾田）



今後も歴史散歩は関西各所で開催される予定です。

案内を希望される方は、メールにてお知らせください。

Our Teachers



印象に残っている先生は？
みなさんのお葉書から紹介します

- ◆ス林三枝子先生【英語】 卒論の師事をしていただきました。
＜ 〇〇〇〇〇〇〇〇 〉
- ◆マクミラン先生【英会話】上品で優しく、発音を
なおして下さいました。＜ 〇〇〇〇〇〇〇〇 〉
- ◆瀬戸山幸枝先生、M.マクミラン先生【音声学、英語】
ミシガン州の大学で、言語音声学を学ばれたように
お聞きしています。にごりのない美しい発音を先生
がスタートなさるといつも別世界にいるようで私の
人生の中で一番澄んだ発音をなさった大好きな先生
でした。昨年のご訃報とても悲しかったです。
＜ 〇〇〇〇〇〇〇〇 〉
- ◆宮崎先生【家庭科】 ＜ 〇〇〇〇〇〇〇〇 〉
- ◆川越先生、熊田先生【家政科】 下宿生活 2 年間、熊田
先生の知人宅で管理されていて、悪いことはできま
せんでした。 ＜ 〇〇〇〇〇〇〇〇 〉
- ◆熊田ムメ先生【家政科】 創立 80 周年の時、参列者の
方々に松花堂弁当を作ったことが思い出深いです。
＜ 〇〇〇〇〇〇〇〇 〉
- ◆熊田ムメ先生【調理】 「魚と仲良くしないで」と言わ
れました。（手の温度で魚の新鮮さが失われるから）
＜ 〇〇〇〇〇〇〇〇 〉
- ◆熊田ムメ先生【栄養学】 校庭で、お友達 4～5 人で
談笑していたら「時は金なり」と叱られました。今で
は懐かしく思います。
＜ 〇〇〇〇〇〇〇〇 〉
- ◆蛭子井博孝先生【数学】 「数学は美の追求なり」と、
いつもおっしゃっていました。数式は美しい形に
することができるからだそうです。（公式にあてはめ
られる） ＜ 〇〇〇〇〇〇〇〇 〉
- ◆菱川先生【英語】 英単語の覚え方など印象的で、今
でもしっかり頭に残っています。（アルファベットを
読みあげるやり方） ＜ 〇〇〇〇〇〇〇〇 〉
- ◆山沢先生【英語】 ＜ 〇〇〇〇〇〇〇〇 〉
- ◆片柳先生【英語】 直接授業はなかったですが、大学
祭の講演会で、「ロミオ&ジュリエット」の講義が
印象的。
自分の卒論の先生の名前が出てこないです。力才は
出てくるのに…うずらを飼ってらっしゃった。
＜ 〇〇〇〇〇〇〇〇 〉
- ◆和泉先生【食物】 実習（先生方の昼食作り）の買出し
に広島駅前の市場に行っていました。とても優し
い先生でした。 ＜ 〇〇〇〇〇〇〇〇 〉
- ◆児玉君江先生【養護教諭】 辛い時に助けてくださ
いました。今でも感謝しています。
＜ 〇〇〇〇〇〇〇〇 〉

- ◆中野修作先生【世界史】 体が虚弱で、原因不明の
微熱が続くなど、よく学校を休んでいた私を、いつも
気づかっていただき、ありがたい先生でした。

＜ 〇〇〇〇〇〇〇〇 〉



ひとこと

みなさんからのメッセージや
近況を「ひとこと」サイズで紹介しします

- ◆いつもお世話いただきありがとうございます。日々、
家事に育児（対象は孫ですが）に頑張っています。
幸せな、そして感謝の毎日です。
＜ 〇〇〇〇〇〇〇〇 〉
- ◆腰椎椎間板ヘルニアで注射と投薬で今治療中ですが、
久し振りの同窓会、会場も京都駅のそばですし、みな
さまにお会いできるのを楽しみにしております。
＜ 〇〇〇〇〇〇〇〇 〉
- ◆数年前 100 歳で逝った義母の 17 回忌法要が 4 月
22 日、我が家で執り行われます。極小さな法要です
が、集まってくれる主人の姉や、私どもの息子たちと
ともに、亡き義母を偲びたく思います。
＜ 〇〇〇〇〇〇〇〇 〉
- ◆今年米寿を迎えます。ボランティア活動をささやか
に続けております。月 4 回体操教室の受付、椅子等
の消毒、毎週水曜日一人暮らしの老人の見守りなど…
です。 ＜ 〇〇〇〇〇〇〇〇 〉
- ◆2023 年度の関西ブロック同窓会の恵みが豊かに
祝されますように。 ＜小田部三恵子(高9/原野) 〉
- ◆もうすぐ 75 歳、終活に励んでいます。
＜ 〇〇〇〇〇〇〇〇 〉
- ◆支部長さんが交代されたのですね。岡本さん、あり
がとうございました。より一層若い方、南方さんが新
支部長に就かれたとの報、お世話になります。よろし
くお願いします。 ＜ 〇〇〇〇〇〇〇〇 〉
- ◆岡本前支部長様、10 年間ありがとうございました。
南方新支部長様、よろしくお願いいたします。今年
1 月に 70 代の仲間入りをしました。まだお茶と
お花は続けていますが、なかなか上達せず、トホホな
日々です。 ＜ 〇〇〇〇〇〇〇〇 〉
- ◆同窓会もクリスマス会も、参加したい気持ちはある
のですが仕事の都合がつかず、すみません。
＜ 〇〇〇〇〇〇〇〇 〉
- ◆病院通いが多くて（ヒザ痛）動きに自信がありません。
懐かしく思い出しています。郷にも行きたいです。
大阪に居住して 50 年、独居で頑張っています。
＜ 〇〇〇〇〇〇〇〇 〉
- ◆今年 2 月初め満 98 才になりました。週 2 回、デイ
サービスで身体を動かしています。両ヒザが悪いの
で遠出できなくなりました。
＜ 〇〇〇〇〇〇〇〇 〉

- ◆ 93歳にもなりますと、一人外出ができなくなりました。
< [redacted] >
- ◆ 元気でやっております。
< [redacted] >
- ◆ 南方さんが支部長に就任されて、嬉しく思っております。今年も支部だよりを通して女学院の精神に触れられましたこと、感謝いたしております。お世話になります、なにとぞよろしくお願いいたします。
< [redacted] >
- ◆ 自分はまだパートにいらしています。(同じ会社に40年)
< [redacted] >
- ◆ 以前から足を悪くしており、残念ながら歩行が困難になりましたので伺えません。あしからず。みなさまによろしく申して下さいませ。
< [redacted] >
- ◆ ここ数年は、ボランティアのお役目をたくさんいただき、今は青少年指導員・保護司・更生保護女性会・福祉委員と小さな子どもから高齢者まで、たくさんの方々とふれ合いの時間をいただいております。交流することはホントに大切ですね。
< [redacted] >
- ◆ 福祉の仕事、時に華道家です。毎日忙しく過ごしていますが、望郷の念もあり、広島に帰省したり、カープ応援に甲子園や京セラドームなど時々まいります。
< [redacted] >
- ◆ 同窓会のお知らせ、ありがとうございます。
< [redacted] >
- ◆ 先日は、敬老の日にお心づくしのお祝いをありがとうございました。
< [redacted] >
- ◆ 一週間が経つのが早いなあと思いつつ暮らしております。歳を重ねても、少しでも美しくいたいなあ、と、しわを見ながら思う近ごろでございます。
< [redacted] >

< お名前(卒年/旧姓) >



敬老プレゼント

広島女学院同窓会
大阪支部では、
心ばかりの敬老の
気持ちをこめて、
80歳になられた方に、
和菓子をお送り
しました。



2023年度 支部会費納入者 (敬称略)

以下の方々から、寄付をいただきました

ご協力ありがとうございました。

同窓会大阪支部の活動は、
みなさまの会費でなっています
同窓会費納入と寄付にご協力ください

年会費 1,000円

下記のいずれかの方法でお願いいたします

- ① 同封の振替用紙にて
- ② ゆうちょ銀行から郵便振替
ATMから 00990-7-92839
- ③ 他銀行からゆうちょ銀行に振込
ゆうちょ銀行 普通預金
店番418 □座番号 8632557



関西ブロック★クリスマス礼拝

12月2日(土)大阪東十三教会にて行われたクリスマス祝会、今年も礼拝のみではありましたが、昨年よりもたくさんの23名の参加がありました。

岡本牧師より、「占星術の学者たちが訪れる」というメッセージをいただきました。『イエスの誕生を知り拝みに行こうとした博士たちは、自分の地位が脅されることを恐れたヘロデ王から「イエスの居場所を知らせてほしい」と言われましたが、「ヘロデのところに帰るな」とのみ告げを受けたため、他の道を通って帰っていった。』という聖書から、『真にイエスに祈りを捧げるものには、本当の別の道(変化)が示される』とお話してくださいました。自分たちの生活と重ね、数年前より生活も大きく変わってしまい、いまだ戸惑うことが多い毎日、どうか本当の別の道が示され、その道をみんなで歩いていけますように祈りました。

山口関西ブロック長の「この礼拝で、いつもよりまじめになる時を持った」というお言葉、女学院生だったころは、世の中のたくさんのことを覚え、心を寄せていたのに、いつの間にか自分のことしか見えなくなって、まわりのことをまじめに考える時間さえ忘れている自分に気付かされました。コロナ、熱中症、インフルエンザ…気の抜けない日々が続きますが、1年後、またみなさまにお会いでき、「まじめになる時」をもてますように…。文：生田恵美(高35 文英17/上田)



▲お菓子とお土産のクリスマス気分が盛り上がりました



2024年度広島女学院同窓会年間聖句

いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。これこそ、キリスト・イエスにおいて、神があなたがたに望んでおられることです。

(テサロニケの信徒への手紙一 5章16節～18節)

2023年度 大阪支部会計報告

<収入>

前年度繰越	223,473
支部会費	74,000
寄付	36,000
クリスマス献金	33,500
収入計	366,973

<支出>

支部だより 印刷	14,860
文具事務費	7,531
交通通信費	85,453
会議費	4,100
敬老プレゼント	9,841
クリスマス礼拝諸経費	30,733
寄付(広島女学院同窓会、止揚学園)	15,000
支出計	167,518
次年度へ繰越	199,455
合計	366,973

なおこのほかに特別会計として預金¥750,000-があります
上記の通り相違ありません。

2024年3月28日

会計監査

宇佐美悦

2023年度 大阪支部活動報告

- 3月15日 大阪支部だより校正 出席9名
3月28日～3月31日
LINE グループトークにて支部だより打合せ・校正
- 4月5日 大阪支部だより発送 出席7名
5月31日 関西ブロック同窓会 出席57名(内大阪18名)
於：ホテルグランヴィア京都
- 6月14日 役員引継ぎ慰労会 出席10名
9月13日 敬老プレゼント発送 出席6名
11月8日 関西ブロッククリスマス礼拝準備会
大阪支部だより打合せ 出席8名
- 12月2日 関西ブロッククリスマス礼拝 出席23名
於：大阪東十三教会
メッセージ「占星術の学者たちが訪れる」 岡本寿吉牧師
- 2月14日 大阪支部だより・同窓会打合せ 出席9名
3月6日 大阪支部だより・同窓会打合せ 出席10名
3月28日 会計監査

広島女学院同窓会大阪支部のホームページができました!

<https://www.ayame-osaka.org/>

ニュースや支部だよりバックナンバーなど載せています。



〔編集後記〕お正月から、昨年訪れたばかりの能登半島の惨状に息を飲むばかり。実際に行って見て感じて味わった感動! 忘れられない風景…まだ知らないことがたくさん。少しでも早い復興を願って、能登の美味しいもの食べる! <西川典子(高44/米本)>